



高齢者が活躍する 社会を目指して

公益財団法人
群馬県長寿社会づくり財団
〒371-8517 前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター5階
TEL 027-255-6511 FAX027-255-6166
E-mail gunshiren@sjc.ne.jp

令和2年2月18日

県内60歳以上のアクティブシニア1,000人を対象に 日常生活・社会参加活動について意識調査を実施しました!!

■調査の目的

高齢者が心身共に健康で、生きがいを持ち地域の担い手として活躍していただくための諸方策を検討するため、当財団の事業参加者から、今後地域の担い手として活躍が期待される60歳以上の人を対象に、「健康、生活、生きがい活動等」に関するアンケート調査を実施しました。

■調査対象 1,000人

当財団の事業参加者から60歳以上の人を無作為に1,000人抽出し、「60歳～64歳、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳～79歳、80歳以上」の5段階の年代に区分。

■調査内容

- ア 基本属性に関する事項
(健康・幸福感等)
- イ 日常生活に関する事項
(災害発生時の備え、自身の介護に関すること等)
- ウ 社会参加活動の実態に関する事項

■主な調査結果 (要旨)

- ① 家族や身近な人と、災害が起きた時の安否確認方法について、事前に話し合いや取り決めができていますか。

「いいえ」71.5%、「はい」32.7%

- ② 話し合いや取り決めができていないと回答した人が対象で、あなたはどのような方法で、家族や身近な人との安否確認を行う予定ですか。

「家族が落ち合う場所を決めている」58.0%

「携帯電話等の災害用伝言板サービスで無事を知らせる」37.8%

「災害用伝言ダイヤル(171)で無事を知らせる」31.5%

- ③ あなたが、介護が必要になったと考えたとき、誰に介護を頼みたいですか。

「ヘルパーなど介護サービスの人」60.1%

「自分の配偶者・パートナー」44.5%

「子」29.3%

※ 年代別に注目すると「ヘルパーなど介護サービスの人」に頼みたいと考える人は、若い世代ほど大きくなる傾向が伺え、一方で年齢が高い世代ほど「子」に頼みたいと考える割合が大きくなるのが伺えました。

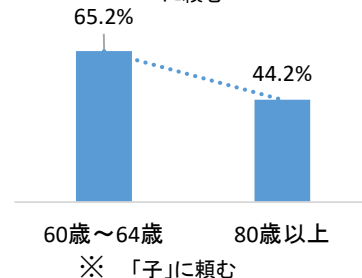
- ④ あなたが介護が必要な状態になったと考えたとき、どんなことが不安に感じますか。

「家族に肉体的・精神的負担をかける」76.5%

「介護に要する経済的負担が大きい」50.4%

「身体が自由がきかなくなる」49.2%

※ 「ヘルパーなど介護サービス」に頼む



※ 「子」に頼む

